

CONTENTS

| | |
|------------|----|
| トップメッセージ | P1 |
| 財務ハイライト | P2 |
| 部門別の概況 | P3 |
| 連結財務諸表 | P4 |
| 会社概要・株式の状況 | P5 |
| 製品紹介 | P6 |



株式会社 鶴見製作所

証券コード：6351

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り有難く厚くお礼申しあげます。

このたび、当社グループは第61期中間決算（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）を終了することができました。

ここに中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により一時的に弱い動きとなった生産活動が、サプライチェーンの立て直しにより持ち直し、また海外経済の成長を背景とした輸出の増加等に伴い企業業績は改善され、個人消費も低水準ながら持ち直しの動きが見られました。

しかしながら雇用情勢は依然厳しく、デフレ傾向が継続する中で、欧米における財政問題に伴う円高の進行、電力供給量の制約、原子力発電所事故の長期化など懸念される事項が多いことから、先行き不透明な状況で推移しました。

また海外経済においては、アジアを中心として景気は回復基調にあるものの、米国経済の減速、欧州での金融不安の拡大、新興国においてはインフレ懸念が高まるなど、その回復テンポは緩やかなものとなりました。

このような状況の中で当社グループは、中期3ヶ年経営計画「Revolution2012」の最終年度を有終の美で飾るべく、各部門が背水の陣で強固な活動を推進し、業績の向上に努めました。

国内部門では、主力市場のひとつである建設機械市場におけるリース・レンタル業界においては、震災の復旧、復興工事関連とも重なり、節電・省エネタイプの自動型水中ポンプを含む小型汎用機種や高圧洗浄機などの売上が順調に推移しました。

設備機器市場においても小型汎用機種の実績が堅調に推移しましたが、公共工事向けの案件や水処理プラント市場においては、景気の先行き不透明感から引き続き低調に推移しました。

海外部門では、北米市場においては、前年に引き続き鉱山市場での大型水中ポンプやレンタル市場での小・中型水中ポンプの売上が、アジア地域においては、インフラ整備の新規プロジェクトでの小・中型水中ポンプの売上が順調に推移しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、141億70百万円と前年同期比7.9%の増収、営業利益は、8億77百万円と前年同期比38.3%の増益、経常利益は、8億30百万円と前年同期比54.3%の増益、中間純利益は、5億56百万円と前年同期比69.8%の増益となりました。

なお、中間配当金につきましては、前期と同様の1株につき8円とさせていただきます。

今後のわが国経済は、震災からの復興や各種の政策効果により、景気の持ち直し傾向は続くものと思われませんが、引き続き公共投資が低迷する中、為替・株価の変動、原材料・原油価格の高騰などに加え、海外経済の下振れリスクが懸念され、今後も予断を許さない厳しい経営環境が続くものと予想されます。

その中で当社グループにおきましては、被災地の一日も早い復興をお祈りし、できる限りの協力、支援を行ってまいりますと共に、中期3ヶ年経営計画のテーマである「技術志向型の企業への変革」を図るべく、技術・生産・販売の変革に注力し、業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。



平成23年12月

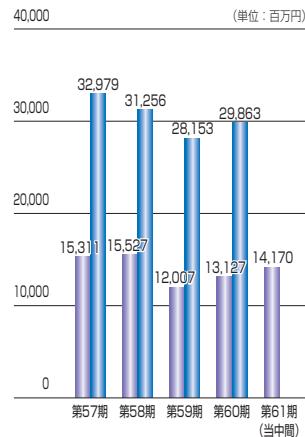
代表取締役社長

辻本 浩

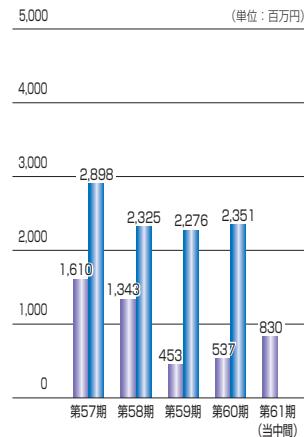
| | 単位：百万円 | | 割合 (%) | 単位：百万円 |
|----------------|-----------|-----------|---------------------|----------|
| | 第61期 (中間) | 第60期 (中間) | 第61期 (中間)/第60期 (中間) | 第60期 |
| 連結経営成績 | | | | |
| 売上高 | 14,170 | 13,127 | 107.9 | 29,863 |
| 営業利益 | 877 | 634 | 138.3 | 2,304 |
| 経常利益 | 830 | 537 | 154.3 | 2,351 |
| 純利益 | 556 | 327 | 169.8 | 1,402 |
| 連結財務状態 | | | | |
| 総資産 | 43,656 | 42,216 | 103.4 | 45,303 |
| 純資産 | 35,641 | 34,510 | 103.3 | 35,772 |
| | 単位：円 | | 対前年同期増減額 (円) | 単位：円 |
| 1株当たり数値 | | | | |
| 純利益 | 22.22 | 13.09 | 9.13 | 55.98 |
| 純資産 | 1,421.80 | 1,376.45 | 45.35 | 1,426.92 |

■ 連結 (中間) ■ 連結 (通期)

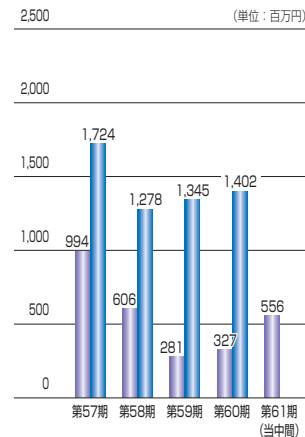
●売上高



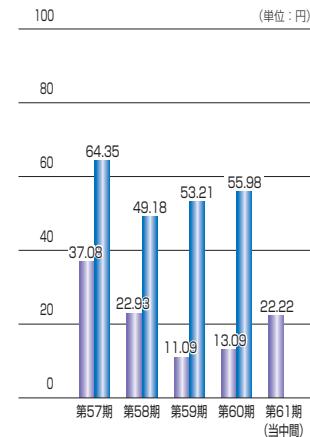
●経常利益



●中間 (当期) 純利益



●1株当たり中間 (当期) 純利益



●国内部門

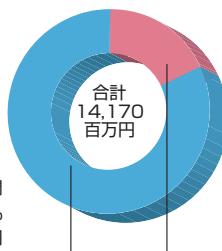


国内部門につきましては、主力市場のひとつである建設機械市場におけるリース・レンタル業界では、東日本大震災の復旧、復興工事関連とも重なり、節電・省エネタイプの小型工事用自動型水中ポンプ、また新製品として業界初の残水型陸上小型自動ポンプや高圧洗浄機などが順調に推移し、前年同期に比べ売上高は増加しました。設備機器市場においても仮設住宅向け浄化槽用水中ポンプや電力、化学工場などの真空設備機器関連及び水産、畜産関連の商品が堅調に推移しましたが、公共工事関連向けの中・大型機種の案件及び水処理プラント市場においては、依然として景気の先行き不透明感が続いていることから本格的な需要回復には至らず、売上高は低調に推移しました。

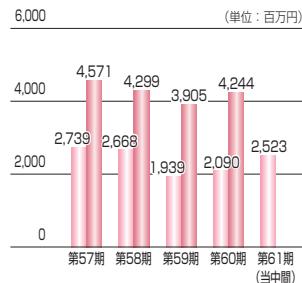
これらの結果、国内部門の売上高は、前年同期比105.5%の116億47百万円となりました。

●海外部門

部門別売上構成比率



■ 連結 (中間) ■ 連結 (通期)



海外部門につきましては、北米市場においては、前年に引き続き鉱山市場での大型水中ポンプやレンタル市場での小・中型水中ポンプの売上が伸長しました。

アジア地域においては、水処理や地下鉄等のインフラ整備の新規プロジェクトが開始された地域において、建設用の小・中型水中ポンプの売上が伸長しました。

これらの結果、海外部門の売上高は、前年同期比120.7%の25億23百万円となりました。



中国を代表する上下水処理展

IFAT CHINA 出展のご報告

| |
|--------------------|
| 開催日 |
| 2011年5月5日(木)～7日(土) |
| 会場 |
| 中国・上海新国際見本市会場 |



主な出展機器

【脱水機】
 多重板型スクリーンプレス脱水機
 MDQ型
 多重円板型脱水機 ND型

【水処理関連機器】
 水中バッキレーター
 TRN型
 (実演)

【設備向け水中ポンプ】
 水中ノンクロックポンプ B型
 水中ハイスピンポンプ U型
 各種バンクスポンプシリーズ

【土木工事向け水中ポンプ】
 水中ポンプ LH型
 水中サンドポンプ GPN型

【真空ポンプ】
 液封式真空ポンプ V型

中国でも注目を集めました。



MDQ型



TRN型 (実演中)

●中間連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

| 科 目 | 前中間期 (平成22年9月30日現在) | 当中間期 (平成23年9月30日現在) | 前 期 (平成23年3月31日現在) |
|--------------|------------------------|------------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | 20,432 | 22,890 | 24,416 |
| 固定資産 | 21,784 | 20,765 | 20,887 |
| 有形固定資産 | 10,750 | 11,165 | 10,710 |
| 無形固定資産 | 515 | 413 | 482 |
| 投資その他の資産 | 10,518 | 9,186 | 9,693 |
| 資産合計 | 42,216 | 43,656 | 45,303 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 6,100 | 5,868 | 7,246 |
| 固定負債 | 1,604 | 2,146 | 2,284 |
| 負債合計 | 7,705 | 8,014 | 9,530 |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | 35,609 | 36,838 | 36,482 |
| 資本金 | 5,188 | 5,188 | 5,188 |
| 資本剰余金 | 7,896 | 7,896 | 7,896 |
| 利益剰余金 | 24,911 | 26,142 | 25,785 |
| 自己株式 | △ 2,386 | △ 2,388 | △ 2,388 |
| その他の包括利益累計額 | △ 1,121 | △ 1,218 | △ 733 |
| その他有価証券評価差額金 | △ 429 | △ 225 | △ 37 |
| 繰延ヘッジ損益 | 6 | 5 | 5 |
| 為替換算調整勘定 | △ 699 | △ 998 | △ 701 |
| 少数株主持分 | 22 | 21 | 23 |
| 純資産合計 | 34,510 | 35,641 | 35,772 |
| 負債純資産合計 | 42,216 | 43,656 | 45,303 |

●中間連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

| 科 目 | 前中間期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで) | 当中間期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで) | 前 期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで) |
|------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 売上高 | 13,127 | 14,170 | 29,863 |
| 売上原価 | 9,212 | 9,872 | 20,767 |
| 売上総利益 | 3,915 | 4,298 | 9,095 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,280 | 3,420 | 6,791 |
| 営業利益 | 634 | 877 | 2,304 |
| 営業外収益 | 179 | 250 | 455 |
| 営業外費用 | 276 | 298 | 409 |
| 経常利益 | 537 | 830 | 2,351 |
| 特別利益 | — | 83 | — |
| 税金等調整前中間(当期)純利益 | 537 | 913 | 2,351 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 125 | 404 | 915 |
| 法人税等調整額 | 84 | △ 48 | 32 |
| 少数株主損益調整前中間(当期)純利益 | 328 | 557 | 1,402 |
| 少数株主利益 | 0 | 0 | 0 |
| 中間(当期)純利益 | 327 | 556 | 1,402 |

●中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

| 科 目 | 前中間期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで) | 当中間期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで) | 前 期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで) |
|----------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,615 | 1,150 | 2,242 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 516 | △ 300 | 177 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 201 | △ 200 | △ 903 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 117 | △ 229 | △ 109 |
| 現金及び現金同等物の増加額 | 1,779 | 419 | 1,407 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,330 | 4,738 | 3,330 |
| 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高 | 5,110 | 5,157 | 4,738 |

商号  株式会社 鶴見製作所
TSURUMI MANUFACTURING CO.,LTD.

大阪本店 〒538-8585
大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号
TEL (06) 6911-2351 (代)
〒110-0016
東京本社 東京都台東区台東1丁目33番8号
TEL (03) 3833-9765 (代)

創業 大正13年(1924年)1月5日
設立 昭和23年(1948年)2月12日
資本金 51億88百万円
従業員 881名(グループ計)
(注)従業員数は嘱託、契約社員、パートを除いております。

●主要な事業内容

当社グループは、水中ポンプを主力とした各種ポンプとその関連機器の製造、仕入及び販売(輸出入を含む)並びに賃貸を行っており、それに附帯する修理及びアフターサービス並びに機械器具設置工事業、土木工事業、電気工事業、管工事業、水道施設工事業、清掃施設工事業、鋼構造物工事業、固定資産のリース業の事業活動を展開しております。

●役員

| | |
|-----------|-------|
| 代表取締役社長 | 辻本 治 |
| 取締役専務執行役員 | 廣田 正章 |
| 取締役常務執行役員 | 有本 高明 |
| 取締役常務執行役員 | 加茂田 優 |
| 取締役常務執行役員 | 芝上 英二 |
| 取締役執行役員 | 中西 寛 |
| 取締役執行役員 | 片桐 健二 |
| 取締役執行役員 | 高井 優 |
| 取締役執行役員 | 田中 静夫 |
| 取締役執行役員 | 野田 勝 |
| 執行役員 | 窪 泰人 |
| 執行役員 | 千石 典昭 |
| 常勤監査役 | 駒澤 賢二 |
| 監査役 | 掛川 雅仁 |
| 監査役 | 鹿内 茂行 |

(注) 監査役掛川雅仁氏及び鹿内茂行氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

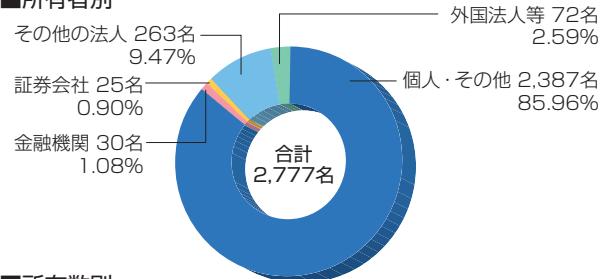
●発行可能株式総数 100,000,000株
●発行済株式の総数 27,829,486株
●株主数 2,777名
●大株主

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|---|-------------|-------------|
| 有限会社 ツルミ興産 | 1,940 | 7.74 |
| ツルミ共栄会 | 1,454 | 5.81 |
| 株式会社 三井住友銀行 | 1,242 | 4.96 |
| 株式会社 三菱東京UFJ銀行 | 760 | 3.04 |
| 鶴見製作所社員持株会 | 657 | 2.62 |
| デンヨー株式会社 | 648 | 2.59 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 605 | 2.41 |
| 株式会社有伸興産 | 518 | 2.07 |
| THE BANK OF NEW YORK - JASDECTREATY ACCOUNT | 474 | 1.89 |
| 住友信託銀行株式会社 | 465 | 1.86 |

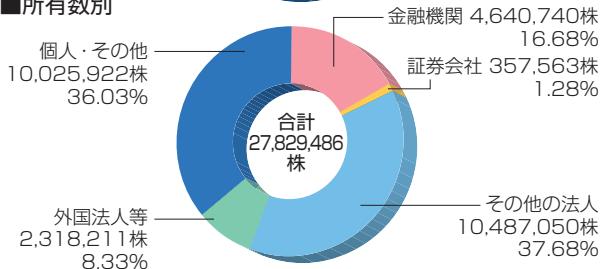
(注) 当社は自己株式2,776千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●株式の状況

■所有者別



■所有数別



冬の節電 心、暖まろう



明日の日本を明るくするために
約40%の電力消費を削減できる
ポンプがあります。

工事排水用 水中ハイスピンポンプ



LBA型

吐出し口径：40・50mm
出力：0.25・0.48kW
全揚程：6・8m
吐出し量：0.1・0.12m³/min



HSE型

吐出し口径：50mm
出力：0.4kW
全揚程：8m
吐出し量：0.1m³/min

水中ハイスピンポンプ



KTVE型

吐出し口径：50~100mm
出力：0.75~5.5kW
全揚程：10~22m
吐出し量：0.18~0.6m³/min

水中泥水ポンプ



HSDE型

吐出し口径：50mm
出力：0.55kW
全揚程：9m
吐出し量：0.1m³/min

低水位排水用 水中ハイスピンポンプ



LSCE型

吐出し口径：25mm
出力：0.48kW
最高排出揚程：11m(50Hz)
12m(60Hz)



LSRE型

吐出し口径：50mm
出力：0.48kW
全揚程：8m
吐出し量：0.12m³/min

残水吸排水用 スイープポンプ



LSPE型

吸込×吐出し口径：25×25mm
出力：0.48kW
最大吐出し揚程：8m(50Hz)・9m(60Hz)
最大吐出し水量：0.06m³/min

株主メモ

| | | |
|--------|----------------------------|---------|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで | |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催 | |
| 基準日 | 定時株主総会 | 毎年3月31日 |
| | 期末配当金 | 毎年3月31日 |
| | 中間配当金 | 毎年9月30日 |
| | そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 | |

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

| | |
|----------------------|---|
| 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人 事務取扱場所 | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (郵便物送付先) | 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | ☎0120-176-417 |
| (インターネットホームページURL) | http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html |

【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

| | |
|-------|---|
| 公告方法 | 当社のホームページに掲載します。 http://www.tsurumipump.co.jp/ir/announce/index.html |
| 上場取引所 | 東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部 |



キャラクター アメニ君

帽子をかぶり、マントを羽織った少年のキャラクターは「アメニ君」と呼ばれています。

彼は人々の暮らしを、そして地球をもっと快適にするために冒険の旅を続け、そして私たちもアメニ君と共に、もっと人と地球に貢献できる快適工学を推進しています。



地球環境保護のために植物インキを使用しています。